

愛しいてい

I C T

No. 6

H25. 11. 12

授業での実物投影機活用事例－①実物を映す (「Hot Edu +」 Vol.1 より引用)

■ そのまま映す ■

【メダカの中から】(小5理科)
水の中のメダカもそのまま映し、指をさして説明できます。

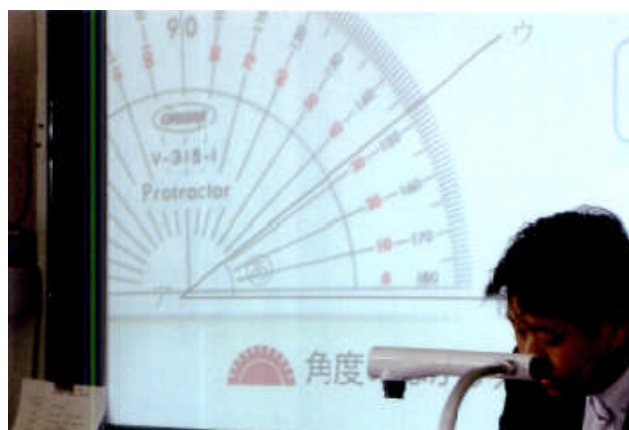
実物を手軽に拡大表示することで、分かりやすさが格段にアップします。新しい発見もあります。

■ 細かい目盛りを見せる ■

【ものさし】(小2算数)
子どもと同じ竹のものさしを、そのまま大きく映します。ミリメートルの小さな目盛りもさして説明できます。

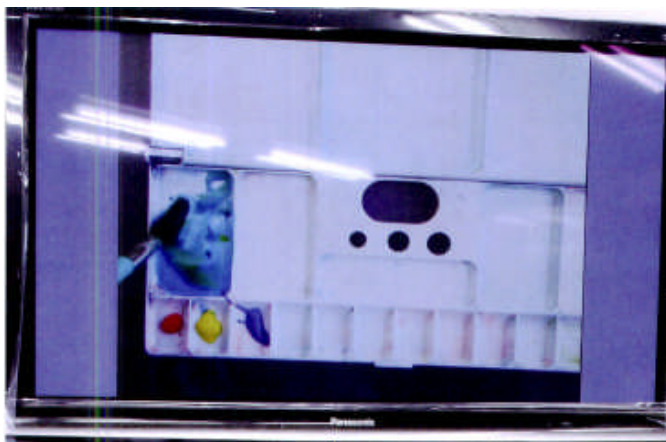
【分度器】(小4算数)
分度器を大きく映し、目盛りの読み取り方を教えます。角の書き方を教えるときにも有効です。

【メスシリンダー】(小5理科)
メスシリンダーを横から大きく映し、目盛りの読み取り方を教えます。



※ ペンで書き込んだり、必要に応じて拡大率を変えたりしながら説明すれば、さらにていねいに説明できます。

■ 指示を通す ■



※子どもたちの持っている道具と同じものを映し実際にやってみせながら説明することが大切です。

【彫刻刀】(小4図工)

彫刻刀を使うときの手の位置について、正しいやり方と間違ったやり方を実際に見せながら説明します。

【絵の具】(小1図工)

水彩絵の具の指導で、パレットに絵の具を出すときの場所や量、混ぜる水の量などを大きく映しながら説明します。

【針のしまい方】(小5家庭)

針さしには、いつも決まった数の針をさしてからしまうことを、大きく映したものに書きこみをして指示します。